

2021年3月18日

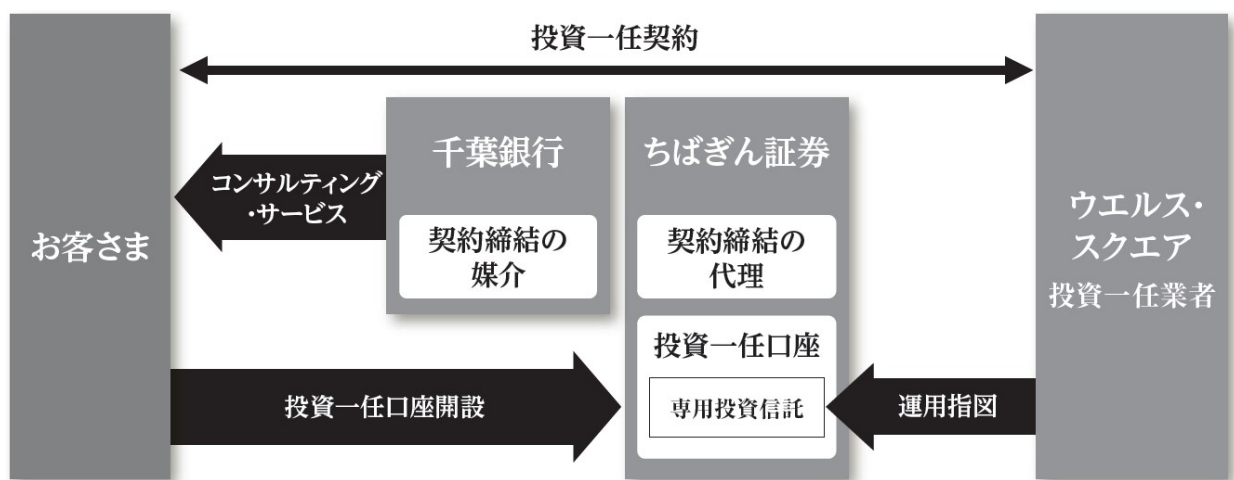
投資一任運用サービス「TSUBASAファンドラップ」の取扱開始について

ちばぎん証券株式会社（取締役社長 木村 理、以下「ちばぎん証券」）は、千葉銀行（頭取 佐久間 英利）とともに、2021年4月1日（木）より、野村グループの株式会社ウエルス・スクエア（代表取締役社長 石田 守、以下「ウエルス・スクエア」）が提供する投資一任運用サービス「TSUBASAファンドラップ」の取扱いを開始します。

「TSUBASAファンドラップ」は、お客さまのライフプランや資産運用に対するお考えに基づき、最も適切と考えられる資産配分を提案するオーダーメイド型のサービスです。ファンドラップ専門の資産運用会社であるウエルス・スクエアがお客さまに代わって投資判断や実際の売買を行うので、お客さまは運用を一任することができます。

また、運用開始後も定期的にお客さまの意向を確認するレビューミーティングを行うことにより、長期にわたって安定的な資産運用サービスを提供してまいります。

<TSUBASAファンドラップのスキーム図>



1. 千葉銀行は、お客さまとウエルス・スクエアとの投資一任契約の締結の媒介業務を行うとともに、お客さまの資産形成をサポートするコンサルティング・サービスを提供します。
2. ちばぎん証券は、千葉銀行と同様にコンサルティング・サービスを提供するほか、お客さまの投資一任口座を開設し、お客さまとウエルス・スクエアとの投資一任契約の締結の代理業務を行います。
3. ウエルス・スクエアは投資一任業者として、ちばぎん証券に対して運用指図を行います。

【株式会社ウエルス・スクエアについて】

野村グループの野村アセットマネジメント株式会社と野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社、金融ITソリューションを提供する株式会社野村総合研究所の出資により2016年1月に設立されたファンドラップ専門の資産運用会社です。

以上